

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道482号下蚊屋バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 鳥取県
起終点 自：鳥取県日野郡江府町下蚊屋 至：鳥取県日野郡江府町下蚊屋		延長 2.5km
事業概要 一般国道482号は、一般国道9号と中国縦貫自動車道との中間に位置し、中山間地域の生活、産業、観光を支える幹線道路である。下蚊屋集落部は、急勾配（9%）、急カーブ（R=20m）が連続し、特に冬季の交通の難所となっているため、バイパスの整備を行う。		
H6年度事業化	都市計画決定 なし	H6年度用地着手
H6年度工事着手		
全体事業費 49億円	事業進捗率 53%	供用済延長 なし
計画交通量 2,215台/日		
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/(事業全体) 22/53億円 (事業費：21/51億円) (維持管理費：1/2億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 35/55億円 (走行時間短縮便益：34/53億円) (走行費用減少便益：1/2億円) (交通事故減少便益：0/0億円)
基準年 平成17年		
感度分析の結果 分析なし		
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する（下蚊屋地区） ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（生活圏中心都市（米子市）へのアクセス向上） ・主要な観光地へのアクセス向上が期待される（大山鏡ヶ成スキー場へのアクセス） 他4項目に該当 		
関係する地方公共団体等の意見 緊急輸送道路（2次ルート）に指定され、米子自動車道通行止め時の代替道路としても機能する重要な路線であるため、強い要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業箇所付近に新規企業の参入（平成20年春稼働）が決定したことにより、将来的な交通量の増加等が見込まれる。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体2.5kmのうち、1期区間（L=1.0km）がH18年度に完成し、部分供用開始する。H18年度から2期区間（L=1.5km）の詳細設計を行う。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地交渉が難航したため、事業進捗の遅れがあったが、現在用地買収はほぼ完了（約98%完了）し、工事の進捗を図るだけである。		
施設の構造や工法の変更等 2期区間の道路幅員の見直し（W=10.5→7.5m） 2期区間の一部道路線形見直しにより、発生土の現場内流用		
対応方針		
対応方針決定の理由 コストの縮減を図り費用対効果も1.0を上回っているため、整備の必要性は変わらないと判断される。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。